



佐々木ゆうき

(美浜区)

市民の命をまもる**海浜病院**は、現在の場所で建て替えを

専門性を発揮し、公立病院としての政策的医療も担い、住民のいのちと健康を守る砦としての役割の発揮が今後も求められています。特に、海浜病院は総合病院としての役割があります。

佐々木議員は、「今後も美浜区において海浜病院の再整備こそ必要」と質問し、市は「地域医療の確保に貢献できるよう施設の状況も考え、市立病院のあり方について検討し、議論する」と答えました。



老朽化が著しい海浜病院

「**団地の再生**」は、幅広く市民・団体と意見交換を

佐々木議員は、昨年6月の議会に引き続き、「団地の再生」について取り上げました。

住民は、高齢化への対応や自治会の維持、住み慣れた住環境での生活の維持と向上など様々な意見・要望を持っています。佐々木議員は、「団地の抱える課題を聴取するなど、団地の再生に向けた取り組みを始める時にあるのではないか」「意見交換する対象を幅広くすべき」といただきました。

市は、「住宅団地の再生について関心の高い民間団体、企業等の関係者、住民など関係者と幅広く意見交換していきたい」と答えました。



地元自治会のもつぎ大会に参加する佐々木議員

幕張西中学校への**特別支援学級**設置を



幕張西中学校前で佐々木議員

障害があることにより、通常の学級ではその能力を十分に伸ばすことが困難な子どもたちのために、小・中学校などに特別支援学級が置かれています。幕張西小学校に通う障害のある児童の保護者からも、幕張西中学校に通わせ、育てていきたいという強い願いが寄せられています。

佐々木議員は、特別支援学級の設置について、中学校側との協議と必要な教員の配置などの手続きについていただきました。

市は、「現在、幕張西中学校を含め、各学校から提出された設置要望書をもとに、設置検討会議で協議している」と答えました。

幕張西子どもルームの**施設改善**を行い、安心の保育を

幕張西子どもルームの利用児童数は、昨年11月1日現在136人となっています。高学年ルームは34人となっています。学級編制の見直しにより、増築したプレハブの教室での高学年ルームの運営が出来なくなりました。高学年ルームにはマザールームに入れなかった小学3年生も利用しています。

佐々木議員は、利用に制限が多い学校図書室ではなく、子どもたちが安心して生活し、指導員が保育できるルームの整備を求めました。

市は、「高学年ルームは様々な課題が生じていることは認識しており、図書室以外の場所を検討していく」と答えています。



図書室に設置されている高学年ルーム

市民への生鮮食料品を安定的に供給する

地方卸売市場の活性化を



水産物部でのマンロのせりの様子

佐々木議員は、市民への生鮮食料品の安定的な供給する地方卸売市場の役割と、場内事業者への支援をいただきました。青果について、市は「取扱数量や地産地消に配慮しながら特色ある市内産品の集荷に努めている。このような市場の機能や役割は重要だと認識しており、今後は、農政部門と連携し、市内産品のブランディング化、市内農業の振興、これを支える生産者の支援にも取り組んでいく」と答えています。

毎月2回実施する市民感謝デーを利用していただき、卸売市場の役割をぜひ実感して下さい。

赤潮と青潮の発生をなくすための対策を強化すべきです

昨年は、青潮と赤潮の発生が頻繁に起こりました。7月には美浜区を含み、市民から悪臭に対する苦情と対策を求める声寄せられました。

市は、浄化センターで生活排水や工場排水などに含まれる窒素やリンを通常と比べ3割除去する高度処理設備を整備しています。

青潮の原因とされている貧酸素水塊は「閉鎖的な水域で、魚介類が生存できないくらいに酸素濃度が低下した水の水塊」です。

佐々木議員は、「幕張沖の埋め立て用土砂採取後に滞留する貧酸素水塊をなくすための抜本的な対策を、さらに県に求めるべきではないか」といただきました。

市は、「現在でも大規模な深堀跡が発生の一因となっている。

昨年度には、稲毛ヨットハーバー付近で発生した良質な浚渫土砂を利用し、幕張り沖の深堀跡の埋め戻しを実施している。今後、深堀跡の埋め戻し事業の継続的な実施を県に求めている」と答えました。



千葉港で発生した青潮

子どもたちの安全のために**保育所の危険な遊具**の交換を

12月議会に「使用を停止している著しく危険な遊具」がある数か所の保育所のうち、2か所の保育所の遊具を民間からの寄付金で再整備する予算が計上されました。

党市議団は、市は「危険な遊具を再整備する予算もない」としているのに、競輪場と公園体育館の新設など約100億円もの多額の支出をやめて、子どもたちの安全を最優先するように求めました。



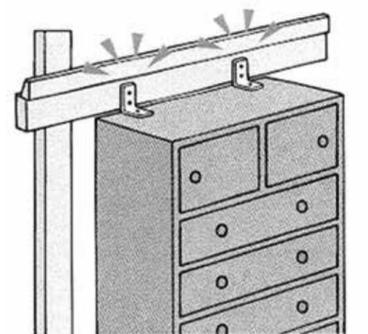
使用停止になっていた保育所遊具

家具転倒防止金具の取り付けで**家具転倒による死者はゼロに**

団地の構造特性に合わせた改善を求めています

家具転倒による被害を軽減するため党千葉市議団は、65歳以上および障害者の家庭に、金具取り付け料を無料で実施している市の制度を広く市民に知らせ、家具転倒防止金具設置の促進を求めました。

市は「様々な努力をする」と答えました。



家具転倒防止金具取付制度

大工さんが自宅へ訪問し、無料(5点まで)取付けます。(金具は自己負担)

- *65歳以上高齢者のみ世帯。
- *障害者手帳1~2級所持者のみ世帯。
- *相談は日本共産党市議団、佐々木ゆうき事務所へ